

海で安全に楽しむために

中・高生用

目に見えない危険を知り、安全な場所を選びましょう！

❌ 離岸流、突発的な大波

海には、場所によって海岸から沖に向かう目に見えない速い流れ(離岸流)^{りがんりゅう}があり、これに巻き込まれると、一気に沖へと流されてしまいます。

万が一、突然沖まで流されたり、いくら泳いでも海岸に近づけなかったりしたときは、離岸流に巻き込まれている可能性があるため、まずは岸と平行に泳ぐことで、沖に向かう流れから抜け出しましょう。

また、一見穏やかに見える海でも、突然大きな波が発生することがあるので、充分注意しましょう。

沖 着色料が沖へ向かっている状況
※実験のため許可を取って撮影しています



海岸

遊泳中の事故割合
(北海道内、場所別)



❌ 深みの存在

海中には急激に深くなっている場所があり、見て確認することは非常に困難です。また、海流等の影響で浅かった場所がある日突然深くなる場合も珍しくありません。泳げる人でも、深みにはまったことで、溺れてしまうことがあります。

❌ 海水浴場以外の場所

海水浴場以外の場所では、水上オートバイやボートなどと接触の危険があるほか、監視員やライフセイバーがいないため、万が一事故にあったとしても、すぐに助けてもらえません。

遊泳は、万が一のときの救助体制が整っている海水浴場を利用しましょう。

海を知り、無理をせず、安全に楽しもう！

海水浴場の開設情報は、北海道庁ホームページにて公開されています。

●海の安全情報はこちら

海上保安庁ウォーターセーフティガイド

Water Safety Guide

海上保安庁



●海水浴場一覧はこちら



北海道

海水浴場情報

危機対策課・スポーツ振興課

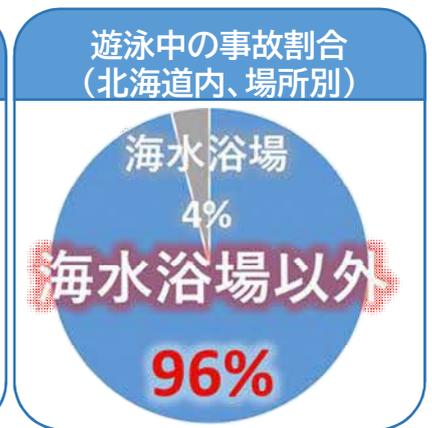
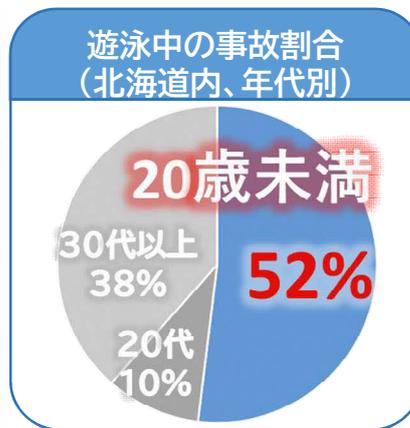


第一管区海上保安本部・北海道

海で安全に楽しむために

北海道では、過去5年間で52名の方が遊泳中に事故に遭っており、その**半数以上が20歳未満の子供**です。

海には「沖へ向かう流れ(離岸流)」や「深み」など、**目に見えない危険**があります。海水浴などで海辺へ一緒に行く場合は **お子様から目を離さない**ようにお願いします。



● 遊泳は、開設された海水浴場を利用しましょう ●

開設された海水浴場とは、自治体等により管理運営されている海水浴場

- ・ライフセーバーや監視員がいる

万が一の時には**すぐ救助**が来る

- ・水上オートバイやボートなどは規制されていて入ってこない

船舶との接触は大怪我の危険

- ・定期的なゴミ拾いや水質検査により、安全に利用できます

一番大事なのは、風や波が強いとき、体調が悪いときは海に入らないこと!!

海水浴場の開設情報は、北海道庁ホームページにて公開されています。

●海の安全情報は**こちら**

海上保安庁ウォーターセーフティガイド

Water Safety Guide

海上保安庁

●海水浴場一覧は**こちら**

北海道

海水浴場情報

危機対策課・スポーツ振興課

遊泳中の事故が起きています。 尊い命を失わないために・・・

遊泳中の**死亡事故の半数以上が10代後半**の若者です。
夏休みに入りましたが、今一度ご確認くださいませよう、よろしく願いいたします。

以下の状況等、思いがけないことでパニックになって溺水する事例が起っています。

○深みにはまる

海の深さは一定ではありません。急に深くなる場所があります。一歩踏み出したとき、波に押されたときに、思わぬ深さで足が届かずパニックに陥ります。

○不規則な波にのまれる

波や足元は不安定で、波に押され足をすくわれ、そのまま波に飲み込まれたり、予想せず顔に海水がかかり、海水を飲んでしまうことでパニックに陥ります。

○足がつる、体調不良

水の中は想像以上に体力を奪われます。塩分不足により足がつる、疲れや熱中症で急に体調が悪くなることで、溺れることがあります。

【知識を持つ】

海は深さや波、流れが不安定です。離岸流や風であつという間に沖に流されます。海の特徴を十分に理解し、注意した行動をとってください。

【道具を利用する】

海には捕まる場所がありません。海辺で遊ぶ際はライフジャケットを着用する、浮くものを準備する等、万一来に備えてください。

【遊泳環境を把握する】

事件や事故に遭った時に、すぐに助けが求められるよう、ライフセーバー等のいる海水浴場を事前に調べ、利用してください。また、波が高い、風が強いときは海に入らないようにしてください。



Water Safety Guide

海上保安庁 ウォーターセーフティガイド

遊 泳



北海道教育委員会
第一管区海上保安本部